概要版

令和7(2025)年度　大池小学校 学校教育経営方針

学校教育目標　求めて学ぶ子どもの育成

シンボル「大池号」
子どもたちや教職員が一つの船に乗って、学習や運動などたくさんの活動を行い目的の港に着くということを願って「船」の形に造られた

とよなか 未来へつなげる学びの９年間（めざす子ども像）
「夢や希望を持ち、未来をほがらかに生きる子ども」をめざして
“明日へ”つなげる学び と、ともに
“思いを”つなげる学び と、ともに
“社会へ”つなげる学び と、ともに

【めざす大池っ子像】　ほがらかに（校歌3番）

1. 自ら学びとり、友だちと対話しながら問題を解決する子ども
   自分で課題を見つけて解決していく
   対話で自分の考えを深め、課題を解決する
   自分で判断し、周りの友だちと協力しながら新しいものを創り出す
2. 思いやりの心を持ち、自他を大切にできる子ども
   お互いの個性や多様性を認め合い、温かい人間関係をつくっていく
   自らを律し、粘り強く取り組んでいく
   ほがらかに、子ども同士が、つながり、支え合う
3. 健康で明るく生活し、「いのち」を大切にする子ども
   「いのち」の尊さを知り、自分の体を大切にする
   運動に親しみ、健康で安全な生活ができる
   基本的な生活習慣を身につけている

めざす学校像
明日がもっと楽しみな学校
子どもたちの未来への応援団

本年度の重点「つながり」

1. **主体的に学びに向かう力の育成**
   ･･･子ども主体の授業（自ら学びとる、協働して課題を解決していく）の充実　デジタルの力でリアルな学びを支える
   自らの考えをもち、根拠を持って明確に説明する力、自律的に学ぶ自信を育む
   → 教員と子どもとのつながり
2. **子どもたちの自発的･自治的な活動の充実**
   ･･･子ども主体の学校行事、児童会活動、異学年活動、清掃活動、係活動等の充実化を推進する　主体的に学級や学校の生活をより良くしようと、話合い、合意形成をしていく話し合い活動を推進する
   → 子どもと子どもとのつながり
3. **第十三中学校区 小中一貫教育の推進**
   ･･･小中一体となった寄り添いの中で安心感の醸成　なだらかな9年間のつなぐ、つみあげる学習指導で子どもたちの学びを丁寧に支える
   → 学校と学校とのつながり
4. **子ども･保護者が相談しやすい環境づくり**
   ･･･子ども･保護者が気軽に相談しやすい雰囲気づくりを推進する　安心して相談できる相談室の環境整備を行う
   子どもや保護者の気持ちを大切にし、日常の声かけや連絡のなど手立てを工夫する
   → 学校と家庭とのつながり
5. **大池ゆめ学習（総合学習）のカリキュラム･マネジメント**
   ･･･地域社会に開かれた学び、夢を育む学び、探究的な学び、体験的な学び、教科横断的な学び、地域と協働した学び等の充実化　学びを自分の将来や社会へとつなげていけるようにカリキュラム･マネジメント
   → 子どもと社会とのつながり

学習指導
･学校の総合的な教育力を高める実践的な研究の推進
･子どもが主体となる ICT の活用
･支援教育の充実
･子どもの発達課題への理解
･情報モラル･情報リテラシー教育の推進
･小中一貫の教育の推進
･人権尊重の教育の推進
･オープンスペースの活用
･学校図書館教育の充実

生徒指導
･成長を促す指導･支援
･いじめ･不登校の未然防止
･道徳的実践力を高める
･関係諸機関･諸団体との連携
･自治的活動の推進
･相談支援体制の充実化と迅速化
･SSWとSCの効果的な活用

健康管理･安全指導
･生命尊重の指導
･健康管理の指導
･健康でたくましい体力向上の指導
･安全と防災の教育の充実

信頼される学校づくり
･情報発信、広報活動の推進
･危機管理の徹底
･個人情報の適正な管理
･同じ方向を向いて子どもを育てることができるよう、教職員と保護者がしっかり連携する

地域とともにある学校
･学校運営協議会の充実
･地域教育コミュニティの核としての学校づくりの推進

取組を進める学校組織･教職員集団

教職員の働き方改革
業務の効率化を進め教職員の時間外勤務減を進めます。

一人もとりこぼさない教育
子どもの言動の裏にある背景や理由に思いを馳せ、一人ひとりに寄り添った教育を、全教職員で進めます。

学びあう教職員集団
教職員同士が学びあう教職員集団を目指します。

行事や取組の精選
今の子どもの実態や教職員の状況にあった行事や取組に精選することにより、それぞれの取組の充実につなげます。

学校組織を活性化
学校組織を活性化させるために、常に改善する視点をもち、ワーク･ライフ･バランスを推進します。